



## 検査情報月報1月号 ▶ 概要版 ◀



2024年1月発行

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、**検査情報月報**を発行しています。

### 横浜市内のマダニ類調査結果（令和4年度）

▶ ダニ媒介感染症は、病原体を保有するダニがヒトを吸血する際に病原体を媒介することによって起こり、特に近年では急性重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が問題となっています。

**主な結果** ▶ 調査地点別に、円海山69個体、富岡総合公園10個体、舞岡公園11個体で、**2種(キチマダニ、アカコッコマダニ)計90個体のマダニ類**が採集されました。▶ 捕獲されたマダニ類の成虫及び若虫の一部について、SFTSウイルス遺伝子検査を行いました。いずれの検体からも**SFTSウイルス遺伝子は検出されませんでした**でした。

### 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果（令和5年5月～10月）

▶ 蚊が媒介する感染症の地域流行を防ぐ対策として、地域特有の蚊成虫の生息状況を平常時から調査し、病原体の侵入を監視しています。

**主な結果** ▶ **ライトトラップ法**により22公園で、7属12種、計9,511個体が捕獲され、最も多く捕獲された種類はヒトスジシマカでした。**人囀(ひとおとり)法**により1公園(3定点)で、ヒトスジシマカが計191個体捕獲されました。▶ 雌成虫について実施した、蚊媒介感染症の原因ウイルス(デングウイルス等)の**遺伝子検査は全て不検出**でした。

### 魚介類中のPCB及びメチル水銀検査結果（令和5年度）

▶ PCB、水銀は生態系の食物連鎖を通じて魚介類に蓄積され、これを食べることによる健康への影響が懸念されています。厚生労働省ではPCB、水銀について暫定的規制値を設定しています。当所では横浜市内に流通する魚介類についてPCB、メチル水銀の検査を行っています。

**主な結果** ▶ 中央卸売市場本場で収去した魚介類10種10検体について、**PCBの検査を行った結果、全ての検体で不検出**でした。▶ 6月に本場食品衛生検査所で行った総水銀検査で、暫定的規制値を超えたマダイ1件について衛生研究所でメチル水銀の検査を行った結果、**メチル水銀が水銀として0.51ppm検出され、暫定的規制値(0.3ppm)を超過**していました。

### 農産物の残留農薬検査結果（令和5年10月）

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

**主な結果** ▶ **市内産農産物**の12種類、計30検体、**冷凍食品**の4種類、計5検体について検査しました。ピーマン2検体、かぼちゃ(冷凍)、キャベツ、こまつな、さといも、ばれいしょ及びほうれんそう各1検体から延べ13項目の農薬が検出されましたが、**基準値を超えたものはありません**でした。